

新CreoElementsDirectModeling コンバーター(Creo2vps)について

2022年1月6日
デジタルプロセス株式会社

新コンバーター(Creo2vps)について

- CreoElementsDirectModeling20.3対応版からCreoElementsDirectModeling (以下 CreoED)用VPSコンバーターは、新コンバーター(Creo2vps)となります
- 新コンバーターは Creo19.0～20.3に対応しています
- 今後のメンテナンスはCreo2vpsのみとなります
 - 現行版コンバーター(sdvps)の公開も引き続き行いますが、sdvpsのエンハンスや障害修正は実施しません
 - 特に問題がない場合はsdvpsを継続使用していただいて構いませんが、障害等発生した場合は、Creo2vpsへの移行をお願いします
- Creo2vps は無償提供となります (sdvpsと同様)
- Creo2vps と sdvpsは、共存可能です (同時にインストールできます)

■ 下記手順でセットアップをお願いします

1. 提供ファイル解凍

- i. Creo2vps_Creo4-8-20211201.zipを任意の場所にコピー
- ii. Creo2vps_Creo4-8-20211201.zipを展開

2. インストーラ実行

- i. installerフォルダ配下のsetup.exeを実行して、インストールを実施

※詳細はインストールガイド(Dipro_Creo_To_VPS_Converter_Installation_Guide_ja.pdf)を参照してください

実行方法について

■ 実行方法は下記の通りです

- ① エクスプローラー上で、変換を行いたいファイルを選択
- ② 以下の順に指定して変換します。

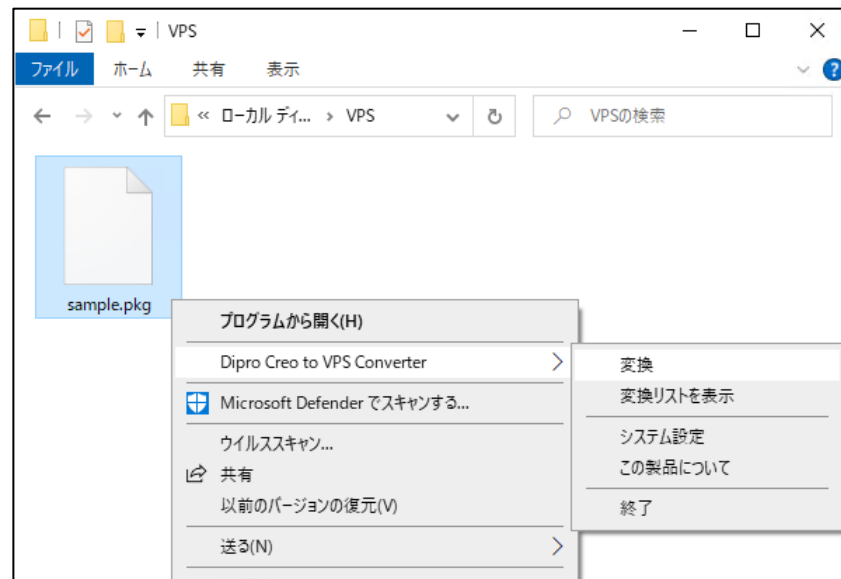
右クリック



[Dipro Creo to VPS Converter]



[変換]



■ 注) CADへの組み込みは出来なくなります。



INIファイルについて

- INIファイル名は、CreoED2vps.iniとなります
- INIファイルの内容は _sdvps_param.ini と異なる部分があります。
マニュアルの9、10ページを確認して設定してください。
システム環境変数でのオプション指定はできません。INIファイルで設定してください。
- INIファイルの格納場所は、下記のどちらかになります
(インストール時の指定によって変わります)

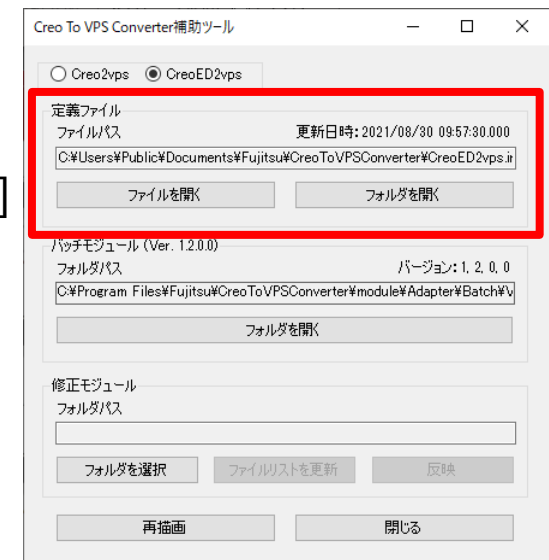
- %LOCALAPPDATA%\Fujitsu\CreoToVPSConverter
- %PUBLIC%\Documents\Fujitsu\CreoToVPSConverter

- 補助ツールにて格納フォルダが開きますので、活用してください

- 補助ツールはスタートメニュー-[Dipro Creo to VPS Converter]
-[補助ツール]から実行できます



- [ファイルを開く]ボタンで、メモ帳等で開きます
- [フォルダを開く]ボタンで、フォルダが開きます



バッチ実行について

- バッチ実行ファイル名は、CreoED2vpsBatch.exe となります
sd_customizeファイル（起動時isp）を作成して、
CreoEDを起動させていましたが、sd_customizeファイルが不要となります
- CreoED2vpsBatch.exeはインストールフォルダ配下にあります
 - インストールフォルダをデフォルトにしていた場合は、下記フォルダになります
C:¥Program Files¥Fujitsu¥CreoToVPSConverter¥module¥Adapter¥Batch¥VPS.x64¥Creo2vps
 - 補助ツールを使用することで、フォルダを開くことが可能です

- 実行前に elybatch.cfg の修正が必要となります
 - マニュアルの7ページに修正方法が記載されていますので、
それに従って修正お願いします（次ページ参照）

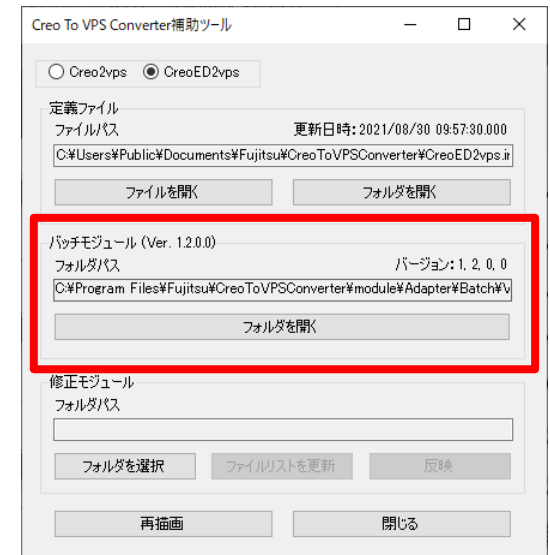
■ コマンドについて

- 以下のコマンドで実行できます。

```
<CreoED2vpsBatch.exe> +input:<変換モデル名>  
+version:[190|200|201|202|203] [+output:<出力ファイル名>]  
[+ini:<定義ファイル名>] [+surface[:ON|:OFF]]  
[+chord:<弦の高さ>] [+angle:<角度制御>]
```

■ 例

```
CreoED2vpsBatch.exe "+input:D:¥VPS_IN¥act_assy.pkg" +version:190 "+output: D:¥VPS_OUT¥act_assy.asy"
```



【参考】バッチ実行設定について

■ バッチ実行のための elybatch.cfg の設定は下記のようになります（マニュアル抜粋）

*** バッチ変換 ***

インストールフォルダに格納している CreoED2vpsBatch.exe を使用することで、データ変換をバッチ処理で実行できます。

【前準備】

実行を行う前に、CreoED2vpsBatch.exe と同じフォルダに存在する「elybatch.cfg」をテキストエディタで編集を行ってください。

以下の赤字の箇所を Creo Elements インストール時に指定した、Creo Elements の起動コマンド名に変更してください。
Creo Elements のバージョンごとに記述されているので使用するバージョンのパスを変更してください。

[elybatch.cfg]

```
NUT_CHECK_DIR $ESERVER\tools\win
TESSELLATOR $ESERVER\tools\win

Product 112001 190
Adek_Dir $ESERVER\tools\win
From_Translator $ESERVER\0sdExe\win\WOM19
Cad_Install_Dir C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 19.0
Cad_Start_Cmd C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 19.0\bin\NT\SolidDesigner.exe
Batch_Status

Product 112001 200
Adek_Dir $ESERVER\tools\win
From_Translator $ESERVER\0sdExe\win\WOM20
Cad_Install_Dir C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 20.0
Cad_Start_Cmd C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 20.0\bin\NT\SolidDesigner.exe
Batch_Status

Product 112001 201
Adek_Dir $ESERVER\tools\win
From_Translator $ESERVER\0sdExe\win\WOM20
Cad_Install_Dir C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 20.1
Cad_Start_Cmd C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 20.1\bin\NT\SolidDesigner.exe
Batch_Status

Product 112001 202
Adek_Dir $ESERVER\tools\win
From_Translator $ESERVER\0sdExe\win\WOM20
Cad_Install_Dir C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 20.2.0.0
Cad_Start_Cmd C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 20.2.0.0\bin\NT\SolidDesigner.exe
Batch_Status

Product 112001 203
Adek_Dir $ESERVER\tools\win
From_Translator $ESERVER\0sdExe\win\WOM20
Cad_Install_Dir C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 20.3.0.0
Cad_Start_Cmd C:\Program Files\PTC\Creo Elements\Direct Modeling 20.3.0.0\bin\NT\SolidDesigner.exe
Batch_Status

Product 100771 190
Adek_Dir $ESERVER\tools\win
Batch_Status

Product 100771 200
Adek_Dir $ESERVER\tools\win
Batch_Status

Product 100771 201
Adek_Dir $ESERVER\tools\win
Batch_Status
```

■ CAD-IDの出力結果は、Creo2vpsとsdvpsとで同じとなります

- 変換直後のASYファイル上では、若干違いがありますが、設計変更機能や、MFG CSV出力での結果は変わりません

例)

sdvps :

```
CAD-ID 5 2 "755541-1623133040-a08cfdbe2219-0 3591" "755541-1623133040-a08cfdbe2219-0 3589"
```

Creo2vps :

```
CAD-ID 19 2 "755541-1623133040-a08cfdbe2219-0 3591" "755541-1623133040-a08cfdbe2219-0 3589"
```


■ Creo2vpsでは下記機能が追加されています

- ASZ形式での変換
 - 出力時のファイル名の拡張子を.aszにすることで、圧縮形式で変換されます。
- 透明度の変換
 - インスタンスの透明度がVPSに変換されるようになります。
(ベースの透明度は変換されません。)

現行版(sdvps)との違いについて②

- Creo2vpsでは下記機能が削減されています
 - 変換精度でパーツ精度、リセット精度の指定ができなくなりました。
 - 空パーツの変換ができなくなりました。
 - 形状の、VRML出力、STL出力ができなくなりました。
 - 形状ファイル名にコンテンツIDを使用するオプションがなくなりました。
 - 特定部品指定出力ができなくなりました。

- Creo2vpsでは処理方法の違いもあるため、sdvpsより変換時間が遅くなる場合があります。
ご了承ください



FUJITSU

shaping tomorrow with you